

# 『パック・イン・ミュージック』創世記

～妖精パックは今も～

武本宏一 (TBS)

『パック・イン・ミュージック』初代出演者



サムライ放送史  
題字 中川 順

『パック・イン・ミュージック』は、昭和42年(1967)7月にスタートし、57年7月終了まで15年間続いたTBSラジオの深夜のベルト番組(月~金)である。

昭和42年といえば、高度成長も爛熟期にさしかかり、テレビ、洗濯機、冷蔵庫の三種の神器も普及し、街にはヒッピーも出現する一方、厳しい受験戦争に勝ち抜くべく、徹夜で勉強に励む若者たちも激増していた。

当時TBSラジオは深夜は放送休止時間だったが、テレビにお客を奪われ、どん底のラジオが、こうした「深夜族」に目をつけたのも当然の成り行きだったろう。

「深夜というラジオフロンティアに、魅力ある番組を開発せよ!」この年の春、ラジオ局第二制作部に大号令が下り、それぞれが一家言を持つ選り抜きのディレクターが企画会議に招集された。待つてましたと、日頃あたためていた企画や出演者を開陳して、なかなかまとまらない。連日の百家争鳴のあと、何とこの私が企画のまとめ役を仰せつかつた。

これは大役、これは大変:苦悶の数日間が過ぎた真夜中、ふと私

の脳裏をかすめて飛ぶ影があった。『そうだ、パックだ。この番組は、パックだつたのだ!』私は思わず膝を叩いた。

パックとは、シェークスピアの

『真夏の夜の夢』に登場する、いたずら好きの妖精である。真夜中に姿を現し、人々に媚薬を振りまいたり、魔法をかけたりしては、朝、姿を消す。まさに、この深夜番組にぴったりのキーワードではないか! 小躍りした私は、鉛筆を走らせるのももどかしく、一気にまとめの企画書『パック』を書き上げた。

## あのキンキンがパックの声!?

番組は何とこのご時世に日産自動車の一社提供が決まり、「日産パック・イン・ミュージック」という正式名に決まった。

後述するが、『パック・イン・ミュージック』はいわば曜日ごとにまちまちの専門店が軒を並べる商店街のような番組で、これをひとつつのイメージで統一するため妖精パックの声を毎晩サウンド・スティッカーの形で活躍させることに

早速パック役のオーディション

を行う。大勢の声優が参加して、放送作家島本十郎さんの「ぼくはパックだ!」という何種類かのセリフをしゃべってから、吉田司、

# 【パック・イン・ミュージック】 いよいよ開始

智、白石冬美。金Ⅱなべおさみ、星加ルミ子、土Ⅱ矢島正明、今井とも子というコンビだった。

リフをしやべつてもらい、結局、一番キュートな声の喜多道枝さん  
に決まった。

ところで、このオーディションに太い声で「ぼくはパックだ…」とやる男性がいた。一同大笑いだつたが、このずんぐりした青年こそ、後にTBSの午後ワイドで活躍する“キンキン”こと、愛川欣也さんの若き日の姿だった。

7月31日(月)深夜、正確には火曜0時30分。ファンファーレに続く矢島正明のタイトルコール“日産パック・イン・ミュージック”でいよいよ番組はスタートした。午前3時までの生放送だ。

スタート時のラインアップは、月曜が増田貴光、戸川昌子。火曜が八城一夫、やまのべもとこ。水曜が田中信夫、北浜晴子。木曜は野沢那

# Die Schlaflosigkeit ist immer ein Übel und...

ひんやりと冷たい  
この孤独な沈黙の復讐  
時の詠ずれば  
キミだけではない

7月31日(月)から終夜放送開始

WBEST  
(950 kc)

かけたものだ。

星加ルミ子は、当時『ミュージックライフ』誌編集長。日本人ではじめて、その前年彗星のごとくデビュー、全世界を席巻したビルズに、単身渡英してインタビューやに成功した女性だつた。最新の音楽情報を紹介してもらうこと

「たった人でも白い眼で見られていい。そうしたいわれなき偏見を打破しようと、ぼくはあえてそうした噂の絶えなかつたご両人を起用したのです」。

私は金曜パックを担当した。なべおさみは、当時クレージーキヤツツの一員の若手芸人だったが、明大出身の知性と社会への関心の高さを兼ねそなえ、私は渋谷にたむろするアングラ族や警視庁前に集結するデモ隊と話をすべく、彼にデンスケをしょつてもらって出

で、若者文化の今を伝えた。ユニークだったのは映画評論家増田貴光と作家の戸川昌子の月曜バックだ。担当の岡本安止さんは、起用の意図をこう振り返ってくれた。「あの頃はホモ、レズなどは差別にあって、どんなに才能を持

若者たちに語りかけるナチ・チャコ



いつも番組終了までの15年間を完走した野沢那智、白石冬美のナチ・チャココンビに止めを刺すであろう。知名度の点ではまだまだお二人だった。「やあやあ諸兄けい:」というナツちゃんの呼びかけで始まる木曜のパックは、受験生を中心とした若者からの投書をひたすら読み上げるという至つてシンプルな構成だったが、その投書は見る間に山積みとなり、つ

いに、一週間に数千通を超えるとがある。たとえばある週のテーマに「ある恋の物語」が出される。すると自分の体験に基づいたさまざまな恋物語が山のように寄せられる。その中から厳選されたユーモアやウイットに富む10通ほどが次週に放送され、聴いている若者みんなの共感を呼ぶ。

ナチ・チャコパックを通じ、受験勉強の辛さや恋の悩みなどを互いに訴えることで、孤独な受験生や、若者たちの間に一種の連帯感、同世代意識といったものが生まれるのだ。

「おげんきよう:」というチャコちゃんの終わりの挨拶とエンディング曲『シバの女王』を聴きながら、若者たちは明日からの競争の前の、しばしの安眠をむさぼるところが出来た。

そう:『パック・イン・ミュージック』とは若者たちの『もう一つの心の広場』だったのだ。こうして放送開始一年ほどでパックブームが到来した。

「スタッフが何もやらなくても、

私たちが『パックメイト』と名づけた聴取者たちが、勝手に機関紙を発行したり、イベントを開いてくれたりしたものです」:。そう回想するのは、番組の中でも熊沢ディレクターとして有名になつた、ナチ・チャコパックの熊沢敦さんである。

ある夜、ふと私の脳裏に現れた妖精パックは、思いもかけず大きな社会現象になってしまった。それは、まだケータイもインターネットもなかったあの時代、『若者たちのもう一つの広場』そのものであつた。



毎年のように開いた。その後『オールナイトニッポン』のニッポン放送、『セイヤング』の文化放送とも交流し、亀淵昭信さんや落合恵子さんも一緒に、日比谷野外音楽堂で「深夜放送まつり」を開き、エールの交換を行つた。

こうした中『もう一つの別の広場』というパックファンの投書を集大成した本が出版され、大ヒットなり、その後も10冊ほど出版された。



## テレビになつたパック

そのナチ・チャココンビがテレビにも登場したのは、昭和45年4月のことだつた。世間が70年安保で大揺れのこの年、私自身も大きな転換期を迎えていた。

TBSが、報道の自由をめぐつて、いわゆるTBS闘争の余波の中にあつたこの年、これからはどこの局とも自由に組んでテレビ番組を作る時代だ、番組制作会社を創ろうと、2月、13人の社員ディレクターが集団退職し、(株)テレビマンユニオンを創設したのだ。記念すべき旗揚げ番組は、フジテレビの『ハットピンキ』という音楽番組、そしてTBSテレビの深夜ベルト番組と決まった。



水曜パックの北山 修

## それぞれのパック

私が「パック」からもTBSからも飛び出した後も「パック」は賑やかな話題を提供し続けた。何しろ終了までの15年間で、延べ80人に近い司会者たちが出演したのだから。

この曜日にはその後も吉田拓郎、小室等といつた大物フォーケンシングーたちが次々と登場した。彼らは概してテレビに出たがらなかつたので、なおさら、ファンたちは「パック」にかじりついたのだから。

この年10月、「パック」は午前5時まで枠大され、午前3時からの第二部は若手アナウンサーの出演の場とした。

彼らは日ごろのアナウンサーの約束事を離れ、のびのびと個性を発揮、これが活気を呼び、やがて樹井論平をはじめ若手アナが第一部に躍り出る。

一アナウンサーから個性豊かなパーソナリティへ、彼らに成長の場を与えたのも妖精パックの仕業だつた。

ほかにも話題はいろいろある。

永六輔さんが5月3日の憲法記念日、3時間ぶつ通しで憲法全文を読み通し、その意義について考

がボディペインティングをしたて、突如、三上寛がバイクに乗つて、乱入したり…、訳の分からぬまま終了。サブタイトルは『何事か始まつたべし』…云い得て妙だつた。

この曜日にはその後も吉田拓郎、小室等といつた大物フォーケンシングーたちが次々と登場した。彼らは概してテレビに出たがらなかつたので、なおさら、ファンたちは「パック」にかじりついたのだから。

この年10月、「パック」は午前5時まで枠大され、午前3時からの第二部は若手アナウンサーの出演の場とした。

彼らは日ごろのアナウンサーの約束事を離れ、のびのびと個性を発揮、これが活気を呼び、やがて樹井論平をはじめ若手アナが第一部に躍り出る。

一アナウンサーから個性豊かなパーソナリティへ、彼らに成長の場を与えたのも妖精パックの仕業だつた。

ほかにも話題はいろいろある。

永六輔さんは5月3日の憲法記念日に、3時間ぶつ通しで憲法全文を読み通し、その意義について考



5時まで拡大した「パック」のワッペン

## パック終了反対デモ

数々のエピソードを残した「パック」にも終焉の時が来た。15年間、若ものたちに愛され、感動と共に感を呼んだ「もう一つの別の広場」、その「パック・イン・ミュージック」が姿を消したのは昭和57年7月31日だった。

「来週をもつて終了」：の予告アナウンスを聞き聴取者たちの反響は凄まじかった。昭和57年夏、私もそれを目撃したことを見た。私は番組終了を弔う葬列のように見えた。

## パックと私

妖精パックは、これで死に絶えたのだろうか。いやいやパックは今も思わずそこに出でては妖魔を振るう。

平成13年、TBS創立50周年に

一団が清水谷公園を出発し日比谷公園めがけてデモ行進をしていった。それは「パック終了反対デモ」だつた。反対デモ行進というより、私は番組終了を弔う葬列のよう見えた。

時代がまた一つ、ゆっくりと回転していく。私は番組終了を弔う葬列のよう見えた。

私はわたくつて恐縮だが、3年ほど前に、私は自伝エッセイを自費出版した。その中で「パック・イン・ミュージック」誕生のいき

さつにも触れておいたのだが、ある日その出版社・新風舎社長松崎義行氏にお会いした際、氏は私にこういうのだった。「武本さん、ぼくは高校生の頃、小島一慶さんのパックの大ファンでしたね。よ

くへタな詩を投稿しては、番組で読み上げてもらいました」：

彼は今、人形町にある演劇スクール『パフォーミング・アート・セミナー』の代表を務め、演劇や声優にあこがれる若者たちの指導に当たつていて。

さて、パックのご本尊ともいえ

る。ナツちゃんこと野沢那智さん

の今について。

先日数10年ぶりにお会いした。

彼は今、人形町にある演劇スク

ル『パフォーミング・アート・セ

ミナー』の代表を務め、演劇や声

優にあこがれる若者たちの指導に

当たつていて。

昔と変わらぬ、前髪パラリにセ

ーテー姿のナツちゃん。「いやあ、

パックとは縁が切れなくてね。こ

の学校の略称も、ほら、P・A・

C：パック！ そう読めるよう、ほ

くが命じたんですよ」嬉しい話だ

なあ。

妖精パックは、まだまだあちこ

ちで、様々な人たちに思いも寄ら

ぬ魔法をかけ続けるに違ひない。

これが命じたんですよ」嬉しい話だ

なあ。



最後の放送ナチ・チャコ

は「パック・イン・ミュージック」が放送された。今、この出版社は時に問題を指摘されているが、私はこの理念に

共感して、現在、この社に籍を置き、新しい原石の発見とPRのお手伝いをしている。

これが命じたんですよ」嬉しい話だなあ。

妖精パックは、まだまだあちこ

ちで、様々な人たちに思いも寄ら

ぬ魔法をかけ続けるに違ひない。

これが命じたんですよ」嬉しい話だ

なあ。

妖精パックは、まだまだあちこ

ちで、様々な人たちに思いも寄ら

ぬ魔法をかけ続けるに違ひない。